

1. 素核研安全グループ 2019年度の主要な活動

《安全意識の向上・浸透》および《安全で快適な実験室環境の整備・構築》を目指して日々活動しております。

2019年度の主要な活動は以下の通りです。

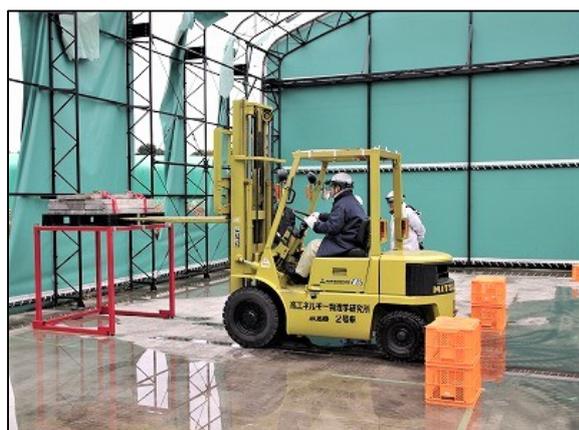
(1) 機構の「安全・衛生週間」で、フォークリフト実技講習、チェーンブロック講習会を実施



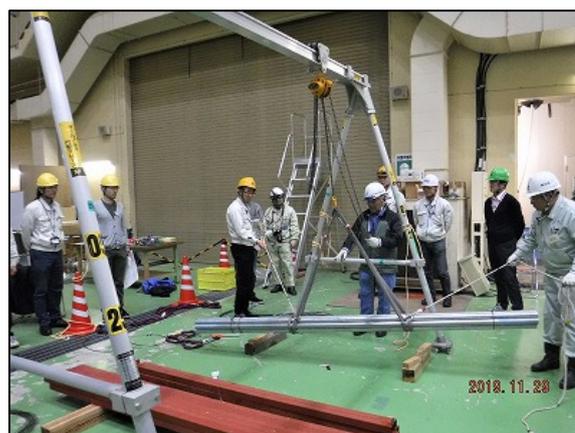
2019年11月25日(月)～29日(金)の5日間、機構の「安全・衛生週間」では、昨年度に引き続き、防災に関する特別講演の他、安全・衛生に関する機構役員との意見交換会や非常食作り体験、各種実技講習など、安全衛生および防災に関するイベントを集中的に開催しました。ここでは特に、フォークリフト実技講習およびチェーンブロック講習会を紹介します。

フォークリフトについては、これまで免許は取得したものの実際に運転する機会があまりなかった職員を対象に再教育の場を設けたものです。またキャンパス内では法的な資格や特別教育などが必要ない0.5トン未満の手動チェーンブロックが多く使用されており、使用者を対象に、その安全な取り扱い方法や適正な点検方法の知識習得のための実技講習会を実施しました。

参加者からは「実技講習は新鮮で良い試みだった」とのご意見が寄せられています。



フォークリフト実技講習の様子

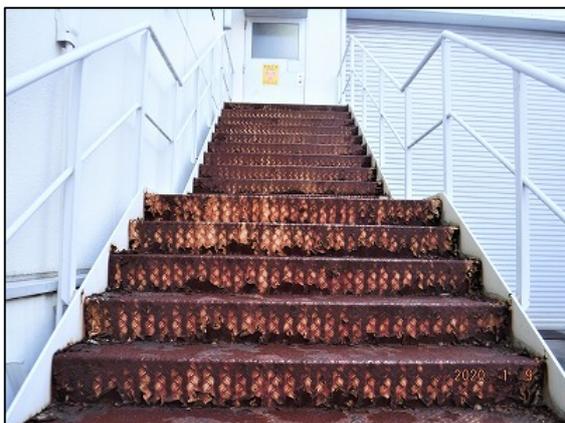


チェーンブロック講習会の様子

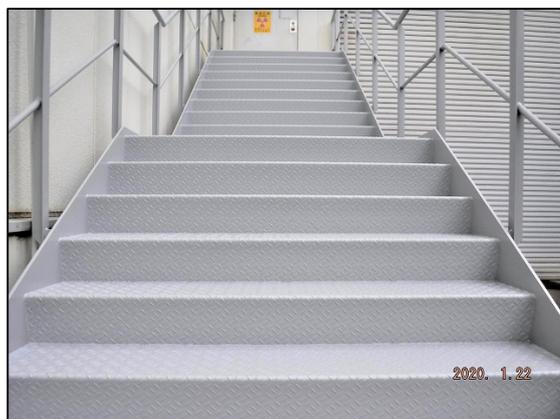
(2) 素核研実験施設の老朽化対策工事

① 北カウンターホール西側外階段の補修工事

北カウンターホール西側シャッター脇に設置されている外階段は、2F 側室からの出口として頻繁に利用されていますが、建設以来一度も補修されておらず、塗装が剥げ、錆が目立ち、健全性に問題がありました。このまま放置すると安全上の懸念があったため、PS 跡地利用検討委員会の作業の一環として、今年 1 月に大規模な補修工事を行いました。今後長期間に渡り安全に使用できるものと確信しています。



補修前



補修後

② 北カウンターホール西側側室の雨漏り補修工事

北カウンターホール西側 2F 側室は、現在素核研内の複数の実験グループにより実験室として使用されていますが、老朽化のため、豪雨後には、複数箇所からの雨漏りにより実験活動に支障が出ることもありました。数年前から屋上の樋や側壁など部分的に補修を続けてきましたが、2019 年度は、その延長として、上記の階段補修と同じく、PS 跡地利用委員会の作業の一環として、西側壁面の目地や窓周辺の雨漏り補修を行い、状態は大幅に改善されています。



西向き壁面の補修



目地のコーキング工事の状況

(3) 低圧電気取扱特別教育の開催

安全グループによる第3回目の《低圧電気取扱業務特別教育》を2019年7月18日に開催し、今回は物構研、加速器、安全衛生推進室より計8名が受講しました。

関東電気保安協会による講習は、既に受講した者にとっても、毎回電気安全に関する新たな知見を得ることができる有用な機会です。

今回の受講者からは、「電気の基礎知識習得と実習は有益だった」との意見や、実験施設で電気設備の管理を担当し、ある程度の専門知識を持った受講者からも「大変勉強になった」との感想がありました。

今後も、つくばキャンパス内で希望者がいれば実施したいと考えております。

照明設備のLED化が一般化するなど、日々進化する電気設備ですが、新しい技術は当初想定できなかった課題が後に顕在化する事例があります。これからも基本を大切にするとともに、新たな安全課題への対応を目的に、より専門性ある電気安全の講演会、講習会等の実施を検討していきたいと考えています。



講習の様子

(4) 工作機械のキー管理化(北カウンターホール)

実験室内の工作機械を安全に使用するため、以前より「使用上の基本ルール」を掲示し、「使用記録簿」への記載を義務化していますが、安全グループでは更に安全性の向上を目指して、北カウンターホール安全管理者とも協議し、「キー管理化」を導入しました。「キー管理化」とは、電磁開閉器と組み合わせたキースイッチをオンにすることにより工作機械を初めて使用可能としたことで、それまでの「いつでも誰でも使える」状態を改善しました。キーを安全監視員室から借りてくる必要があるため、使用者を把握でき、安全対策を的確に伝えることができるようになり、より安全な運用が期待できます。



工作機械使用上の基本ルール



キースイッチ

2. 今年度の活動予定

2019年10月に安全グループに新たに一名が新リーダーとして加わりました。この体制で、今後の活動について話し合ってきました。その中で新しい試みとして「素核研つくばキャンパス安全推進委員会」を立ち上げます。この委員会は安全グループに加え、各プロジェクトの担当者から構成され、機構の安全衛生推進室からもオブザーバーとして参加して頂きます。今まで素核研つくばキャンパスにはプロジェクト横断的に安全に関して話し合う正式な場がありませんでした。この委員会はこれを補い、素核研の安全意識向上に貢献でき、安全グループの活動の活性化にもつながると考えています。また、この委員会は東海キャンパス J-PARC ハドロンホールの安全委員会とも密接に連携し、安全環境の整備に取り組む予定です。

これに加えて2020年度は引き続き、以下のような活動をしてまいりますので、皆様の益々のご理解とご協力をお願い致します。安全管理上、何か相談事があれば安全グループに声を掛けて下さい。微力ながら、可能な限りお手伝いさせていただきます。

- (1) 「素核研つくばキャンパス安全推進委員会」の運営
- (2) 各種安全講習会の開催
 - 電気安全講習会、フルハーネス型墜落制止器具の特別教育等
- (3) 安全・防災上危険な箇所の改善および整理・整頓活動
- (4) 低濃度 PCB 含有が疑われる機器の調査・収集および分析
- (5) 安全グループHPを通した各種安全関連情報の発信